

case. 下関市  
01 カフェ



住宅



>>>

店舗



江戸時代から続く歴史と価値を  
今に伝えるリノベーション

## 🏠 リノベーション内容

Before

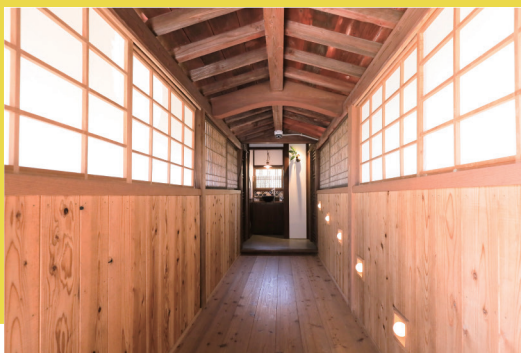


After



屋根瓦のズレの修正を行った。定期的な手入れが必要な漆喰の壁の修理も行った。

After



カフェのカウンターが設置されている部屋は、床を張り直しカウンターを新設した。

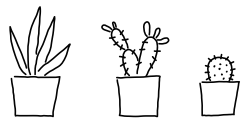
# リノベーション ストーリー

renovation story

この建物はもともと江戸後期の建築で毛利の小藩、清末藩の藩邸を明治 11 年に移築したものです。書院と厠、湯殿がここに移築されたと聞いております。造り酒屋や材木商を経て、使用人も含め大家族で住んだ時代もありましたが昭和の後半からは私の叔父一家が暮らしていました。叔父夫婦が亡くなってから 2 年ほど空き家にしていましたが、「家を大切に維持してほしい」という生前の叔父叔母のたつての希望がありましたので、私が管理することになりました。古い家は常に補修が必要ですし、維持管理に毎年大変な費用がかかりますので、古民家は壊すも残すも大変です。個人で維持することは難しいと考えて 5 年前にパン屋を始め、近々座敷の方で喫茶を開業予定です。「歴史を感じる落ち着ける場所です」というお客様の言葉に励まされながら、維持していこうと思っています。



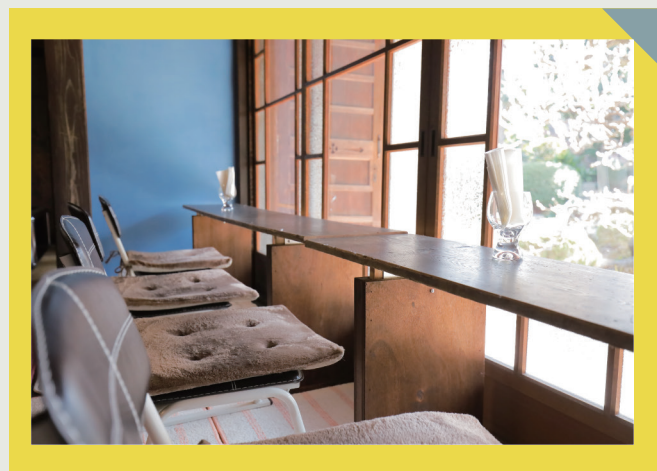
## 利活用までの スケジュール



schedule

● 2015	叔母が亡くなり、空き家を相続
● 2017	空き家の一部を利用し、パン屋を始める
● 2018.1	随時リノベーション開始
● 2018.9	トイレの改修終了
● 2021.3	カフェスペース改修終了
● 2021.5	間貸しで貸し出し（2022 年 12 月まで）

## こだわりポイント



### 元の雰囲気を残しつつ、使いやすくリノベーション

もともと厠と湯殿だった場所を水洗トイレに改修しました。縁側からトイレへと続く通路は、床は張り直しましたが、屋根はそのまま使用しています。カウンターの側面は漆ぶきの和紙を貼り、天板は材木業をしていた叔父が残した木を使って作成しました。今までとあまり雰囲気が変わらないように意識して改修を行いました。